

○大沢野地区タウンミーティング議事録（概要）

日 時 令和5年8月5日（土）

午後2時から午後3時45分まで

場 所 大沢野会館

出席者 87人

テーマ1 市税の概要と身近な個人市民税について（財務部）

<主な説明事項>

- 1 税金の種類と体系
- 2 市税の種類
- 3 令和5年度当初予算
- 4 生活に身近な行政サービスの費用
- 5 市税の納付

【財務部の説明に対する質問】

- ・ 富山市はふるさと納税に取り組んでおられるのでしょうか。今週の始め頃、ふるさと納税について他県が一位だとか二位だとか（ニュース等で話題になって）、私は、確か富山市はふるさと納税に取り組んでいない（とっていましたので）、お聞かせください。

（財務部長）

富山市もふるさと納税に取り組んでおります。ふるさと納税の簡単な仕組みですが、市民が、自分の（居住する）市に寄附することもできますが、その時にはいわゆる返礼品を受け取ることができないので、基本的には市外の方、一旦（市外へ）出られた方が、ふるさとなり、ゆかりのある自治体に寄附するというものです。富山市では、昨年度の数字ですと、決算額（寄附受入額）が約2億8,000万円まで上がってきております。この制度はなかなか難しいところがあり、

特産品のようなものが多くある自治体が全国的に人気となっています。都市部では逆に出ていくお金（「寄附金控除額」）が大きくなっており、富山市においても、入ってくるお金（「寄附受入額」）よりも出ていくお金（「寄附金控除額」）の方が大きいのが現状です。そのため、なるべくその状況を解消しようということで、現在、ふるさと納税（を受付けする）サイトを増やし、なるべく多くのサイトから見ていただけるようにするなど、ふるさと納税に力を入れております。一度富山市のふるさと納税のサイトを見ていただき、市外のお住まいの方にぜひお勧めいただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

テーマ2 地域コミュニティ再構築支援事業について（市民生活部）

<主な説明事項>

- 1 富山市の地域コミュニティの現状と課題
- 2 地域コミュニティ推進課の新設と地域振興担当職員の配置
- 3 地域コミュニティ再構築支援事業補助金と各地域の取組み
- 4 電子回覧板導入支援事業

【市民生活部の説明に対する質問】

- ・ 私の町内会では、公民館の後ろの土地を駐車場にする予定でいます。地縁団体のため法人化する必要があるということで手続きをしておりますが、この手続きが結構面倒で、富山市（へ認可を申請する）段階でもう少し簡素化できないものかと（考えております）。これはどうしても国の法律の改正が必要であれば難しいと思うのですが、（申請にあたり）住民の半分以上でしたか、何%以上の同意が必要だということはわかっていますが、例えば、町内会の総会で可決できれば、それが変わるものであれば、もう少し（手続きが）簡単であるということで、この（認可）地縁団体が他の町内会にも増えていくのではないかなと思っております。（手続きの簡素化が）簡単にできるかどうかわかりませんが、お尋ねしたいと思います。

(市民生活部長)

大沢野地域では以前からあまり認可地縁団体には馴染みがありませんでしたが、これは地縁団体が法人化して、例えば契約行為や土地の取得ができて便利になるような制度であります。確かにおっしゃったとおり、全国的な制度ですので（手続きの）簡素化は難しいのが現状です。（申請には）それだけではなく、例えば隣同士の町内会との境界をしっかりと確定し、町内会のエリアを限定させる作業などが必要であったりしますので、市としてはそういった際にはしっかりと寄り添い、できる限り（手続きが）スムーズに進むよう努めております。ご質問の要件の緩和については今のところ難しいので、ご容赦いただきたいと思っております。

- ・ 最近空き家が社会問題になっていますが、その雑草がどうもほったらかしになっています。私は本庁の6階に何回か足を運んでいますなかなか（反応がありません）。一番困るのは地元の者です。雑草にしても、やはり私の家の生活道路ですから、結局私が自分で刈っている状態です。私の近所に旧大久保中学校跡地（大久保運動広場）がありますが、先般も雑草（が生えた）ままでした。先月の初めに、私は体育協会へ電話して、「そのうちに刈りに行きます」（と言われましたが）、それも全然前に進まず、7月18日に体育協会へ行って、（改めて刈ってもらうように伝えると、）ようやく7月25日に刈りました。そういう状況なのです。こういったことは、これからは行政サービスセンターで、きちんと責任をもって処理していただくようよろしくお願いします。

(市民生活部長)

体育施設につきましては、市民生活部の所管になりますので、フォローアップ等を注意して、しっかりと対応できるようにしたいと思います。その他の雑草等につきましては、それぞれ所管があり、やはり本来であれば、まずはその所有者がしっかりと管理しなければいけないのですが、所有者が不在になっていることがあります。市とすれば、そういったところには、できるだけ連絡を取るようにはしていますが、なかなか連絡がつかないという現状もあります。ただし、

空き家につきましては大沢野だけではなく、市全体の課題であります。市としてできるだけことはいたしますが、もしかすると地域の皆さんに迷惑をおかけしている部分があるかと思えます。できる限りそのようなことのないように対応してまいりたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

- ・ 洪水等の被害について、大沢野地域では、神通川沿いの地域は洪水の恐れがありますが、それ以外の地域は比較的风险が小さいと思っております。余計なお世話かもしれませんが、洪水が起こった時に、市役所が3、4 m浸水するのではないかとニュースで見たことがあります。富山市の中核であり、市民の窓口である市役所が水没すると大変なことになります。災害はいつやってくるかわからないので日頃からの対策が肝要だと思っておりますが、何か対策等を講じられているのかどうか、教えていただければと思っております。

(市長)

昨年、防災や防犯、交通安全を所管する防災危機管理部を立ち上げて、今お話されたことを含めて、どのような方法が災害時に一番スムーズなのかということも議論しております。各エリアによって浸水する場所としない場所があり、災害の特徴が異なりますので、地域に応じて、どのように取り組んでいただければいいかというようなことも、富山県防災士会のお力をいただきながら検討しております。

市役所庁舎ですが、確かに豪雨時は、ハザードマップに示したとおりの浸水が想定される地域です。防災危機管理の本部は市役所庁舎内にあり、大雨が激甚化して水没すると、参集するのは厳しいのではないかとこのところもあります。市域全体が水没するわけではないので、どのような取り組みができるかということを検討してまいりたいと思っている最中でありま。

ちなみに富山県は、県庁に防災危機管理センターを新設しましたが、そちらも同じように水没します。その時は富山市惣在寺にある富山県広域消防防災センターが代替機能を果たすようにされていますし、水没しないエリアになっておりま

すので、(富山県の場合は) 代替機能が出来ているのだらうと思います。富山市の場合、ご指摘の問題点はあると思いますので、しっかりと(その問題を)払拭するように取り組んでまいりたいと思います。

テーマ3 富山市の環境施策とごみの減量化について(環境部)

<主な説明事項>

- 1 ゼロ・カーボンシティへの取り組み
- 2 ごみの減量化への取り組み
- 3 家庭ごみ有料化の検討

【環境部の説明に対する質問】

- ・ ごみの有料化について、(富山市では)なぜ今まで有料化しなかったのでしょうか。私の家内が、有料化された場合、一体どのようにお金を集めるのか、ごみ収集量時に秤を持ってきてごみの量を量るのかなどと(疑問に思っていたので)、具体的な方法を教えてください。奥様方の口コミが、一番インパクトがありますので、私の家内が納得するようなご説明をお願いします。

(環境部長)

なぜこれまで富山地区広域圏のエリアだけが(有料化に)取り組んでこなかったかという、皆さんのごみに対する普段からの取り組みや減量化が一定程度進んでおり、ごみの経費について、何とかやっていけるだらうと、正直言って持ちこたえてきたからです。ですが、いよいよこれからはそうも言ってられません。財政も含め、これからの設備更新の問題などがありますので、いよいよ検討を始めたということをご理解をいただきたいと思います。

次に、どのようにごみの量を量るのかということですが、多くの自治体は、ごみ袋の大きさに応じて課金をしております。例えば、コンビニやホームセンター、ドラッグストアなどで、45Lや30Lなどのごみの袋をご購入されていると思います。多くの自治体は、通常10枚約100円で売られている45Lのごみ袋

を、500円や600円等で売っていただき、元値等を差し引いた金額を市にいただくというやり方が一番多いです。ですので、皆様がスーパー等でごみ袋を買われた際に、実際に手数料を納めていただいている、というのが一番多い例となっています。そのほかに、普通のビニール袋に、これはいくらに相当するシール、これはいくら分のシールなど、シールに価格帯といいますか、手数料のランクを付けたものを貼っていただいて、(ごみに)出していただく、という取り扱いをしている市町村もあると伺っております。

- ・ 富山地区広域圏クリーンセンターは今まで余裕があるということで、広域圏以外からたくさんのごみを持ってきていて、今になって有料にしなければならないということですが、(その前になぜごみ処理)環境の整備をしないのですか。大山の雷鳥大橋のふもとに庭木の処理施設がありましたが、数年前から無くなってしまいました。ごみの減量化をしなければならないと言いながら、そのような施設を無くしてしまって(いるから)、ごみが増えたと言っているのではないですか。だから、ごみを減らす方法を具体的に考えて、リサイクルしなければいけないと思ったら、もう少し(ごみの分別方法)を説明しなければいけないです。分別を徹底するということは、説明にあったとおりの大事なことだと思います。

ごみ収集そのものにも、環境の整備をするなどして、経費がかからないようなことを具体的に(行う必要があると思います)。クリーンセンター(近くの)上滝地区は道路整備もしないし、環境整備がほったらかしです。もう一つ具体的に言うと、先ほどの庭木の処理をしていた場所は、どうやら売却されてしまって、ごみ焼却道路と言われている雷鳥大橋の道路に接続する道路も整備されず、今までほったらかしになっています。経費の節約になるようなことを具体的に考えずに、ただ費用がかかるから有料制にするというのは、後の話ではないでしょうか。そのような周辺環境整備をしっかりとした上で、ごみの収集を考えないといけないと思います。

(環境部長)

まず庭木の処理施設の件について、その施設があったことについて私は正直なところ存じ上げておりませんが、私どもで処理を行っているごみは、基本的には家庭系の一般廃棄物と分類されております。

そして、その庭木の処理施設は恐らくですが、例えば造園屋さんや様々な工事業者さんが、事業として行った工事や庭木等の処理で出されたものを扱っておられたのではないかと考えると、もしその場所が今現在無くなったということであれば、何らかの形で他の施設に（その役割が）吸収されていった、若しくはその施設が老朽化等で使用停止し、(代わりに) 別のところで既に処理しているのではないかと推察されます。

また、ご指摘がありましたように、こういった問題については、これからもしっかりとごみの減量化を図る必要があるということは十分意識しております。例えば生ごみであれば、もう少し圧縮して、水を切って出していただき、若しくは包装紙であれば、デパートなどで買った色々な商品が過剰に包装されていれば、そういった過剰包装の物を買わないとか、過剰包装だったものはリサイクルに回すとか、そのようなことをしていただきながら、ごみの減量を図っていただくということがとても大事なことであり、そうした取組みと併せながら、ごみの減量化を推進していくことを考えております。その上で、さらにその先にあるものとして、ごみの有料化をこれから検討し、考えていきたいというご説明であったということをご理解願いたいと思っております。

- プラスチックごみのリサイクルについてお聞きします。私は、今朝の北日本新聞を読むまでは、プラスチックごみをリサイクルすると言っておきながら、きつと燃やしているのだらうと勝手に思っておりました。というのは、非常に雑多なものが混ざっているからです。私も混ぜています。汚れたものは燃えるごみ、何となく綺麗なものはプラスチックごみ、ペットボトルや最近スーパーで回収してくれるものはそちらへ、紙はリサイクルというようにリサイクルに（出していま

すが)、雑多なプラスチック回収は絶対リサイクルできないと思っておりました。実際にプラスチックは、どの程度リサイクルが可能になるのでしょうか。

(環境部長)

プラスチックの処理技術は、以前から見ると格段に向上しております。プラスチック類が処理施設に運ばれますと、それをまず洗浄し、破碎し、例えば重いものと軽いものを風で飛ばす、というようなことを約3工程行います。そうすると、かなりの精度で、これはきちんと使えるプラスチック、これは場合によっては使えないプラスチック、これは再生可能でさらに良いものになるプラスチック、というような分類が、きちんとできるようになってきております。

昨年、(一括回収を)実施した婦中では、(回収量は約)6%の増加でしたが、もっと周知すればもう少し増えたのではないかと考えております。そのため、6%は超えるのではないかと考えておりますが、これはやってみないことにはわかりませんので、少しでもリサイクル率が上がるよう周知に努め、そして市民の皆さんのご協力やご理解をいただけるように努めてまいりたいと考えております。

【その他意見交換】

- この前、雨がたくさん降り、大沢野小学校等が避難場所になりました。その時どのくらいの方が避難に来られたかお聞きします。

それから防災の放送について、行政サービスセンターの方が一生懸命放送されており、私も戸を開けて聞くのですが、なかなか聞こえません。この周知の仕方は正解なのか、もしかしたらもう少し(違う方法が)あるのかなと思いました。私の住む地区は一人暮らしの方が多く、「放送されている」(と思うだけで)家の中におられる方もいると思うので、その時は結構サポートをしなければいけないと思っていました。放送(での周知は)無理があるのではないかなど、(周知の方法について)常々考えております。

それで、この間は、大沢野小学校にどのくらいの方が避難されたかということ

と、その時の行政側の対応職員等についてお聞かせください。

(大沢野行政サービスセンター所長)

先日の大雨の時は、大沢野小学校が避難所として開設されており、2世帯、3名の方が避難されております。大沢野地区担当の職員が避難所の要員として待機しており、避難所を開設しておりました。

- 先ほど、市民生活部長から凧揚げの行事について（説明があったように）、地域振興担当の方の協力をいただき、今準備を進めているところです。この地域振興担当の設置については、本当に、諸手を挙げて賛成する立場です。なかなか今までこのような小さな細かいところに手が回らなかったと言いますか、目が行き届かなかったところがあったと思います。本当にありがとうございました。

今、猿倉山で凧上げをしようとしており、この間も猿倉山フェスティバルがありました。実は猿倉山の芝生広場の芝生がはげており、どうしたのかなと思ってよく聞いてみたら、どうも芝生につく虫が悪さをして、どんどんはげていくということでした。少し斜面になっているので、雨が降って土が流れると、芝生も生えにくくなると（いうことらしく）、下の芝生広場はそのような状況になっています。上にも芝生広場があり、実は坂の辺りから上の段は特にそうなのですが、去年、私は写真も撮ってきましたが、猪が何かほじくったような、まさしくトラクターで畑を耕したかのように、全面畑みたいになっていました。今はそれがそのまま放ったらかしで（適正に管理されず、）背の高い草がたくさん生えている状態になっています。

もう一つは猿倉コミュニティセンターという木造の、なかなかすてきな建物があり、たくさんの方が寄って（イベント等を実施する）時には誠に良い施設なのですが、実は入り口への階段が二つあり、片一方は木が朽ちて危ないということで、かといって撤去はされていませんが、危ないから通るなということになっています。

さらに、音響が駄目になっています。それから、暑いのですがクーラーがあり

ません。そのため、あそこで今度子どもたちを集めて何かしようと色々考えていますが、この暑さなので心配です。猿倉山周辺、特に芝生広場をもう少し活用すれば(良いのではと考えています)。市街地の方々もお子様連れでよく来ておられました。そのような状態であり、イノシシが来る等ということで、あまり見かけないようにになりました。寂しい限りです。そのようなことをお伝えしたくて、感謝のお話と、お願いごとを申し上げました。

(市長)

猿倉山(でのイベント等)については、コロナでしばらく中止だったと思いますが、商工会等が中心となってお祭りのようなことも実施していますし、色々な方から、コミュニティ施設を含めた活用方策や活用に対する要望をいただいていた時期もあると心得ています。そのような(お話があったことを)持ち帰らせていただいて、再度検討させていただきたいと思います。具体構想というような計画は今のところない状態です。

イノシシとサルの対策も、皆さんからよく要望をいただいているので、鋭意取り組んでいるところでありますが、それはまた引き続き実施してまいりたいと思います。

- 今お話がありましたが、やはり地域柄、イノシシやサルが近所まで出没しており、いつ被害が起こってもおかしくないという状況です。年々悪くなっているという認識であり、根本的な対策をお願いします。

(市長)

イノシシやサルについてはおっしゃるとおりだと思います。県の鳥獣保護計画において、サルであればどのぐらいの頭数を維持管理するか(決められており)、逆に言うとどのぐらい増えてもいいのかという話になりますが、その個体数をもっと減らすように(県へ)お願いしております。県のサルの保護計画は年々(頭数を)減らす方向で考えてはいただいておりますが、難しい部分もありますので、バランスを見ながら市も要望してまいりたいと思っております。

次にサルノの生息調査ですが、予算付けをして今実施しているところです。どう
いう群れがどれぐらい移動して、経年でどれぐらい増えたとか減ったかとか、そ
のようなことを含めて調査することによって、もう少し山の方に（移動させられ
ないかなど）、何らかの方法についても研究してまいりたいと思います。とにかく
被害の状況もよくお伝えしていただいているので、なんとか取り組んでまいりた
いと思っております。

- 企業会計についてお尋ねします。例えば水道事業について、水道（の使用）に
は料金を支払っていますが、ここに挙げられている企業会計の予算には、この（支
払われた）料金は（含まれているのでしょうか）。

（財務部長）

先ほど約460億円と言いました企業会計は、水道事業と工業用水道事業、下
水道事業、病院事業の4会計があり、それぞれ内訳があります。水道料金がどう
なっているかということですが、この予算の中に水道料金として含まれておりま
す。

- （藤井市長には）もう少し（地域を）回っていただきたいです。私よりまだ若い
人ですから、もっと動いていただけるようお願いします。

それから、今月末に完成予定となっている呉羽丘陵（フットパス連絡橋の工事）
は、佐藤工業と川田工業、松原建設が行っていて、（この橋は）車は通れず、人だ
け（が通れる橋）だと（いうことですが）、それよりも五福八区から茶屋町の道（幅）
を広げるほうが大事ではないでしょうか。私はその辺が納得いかないので、回答
をお願いします。

（市長）

地域へは、私も結構回っている方だと思うのですが、（少ないと思われる理由の）
一つはコロナの影響から、昨年度までは「来ないでください」というような声
が多かったためです。いつでも伺いたいと思いますので、その辺はバランスを考え

ながらぜひお呼びいただければと思います。

呉羽丘陵フットパスは、私が着任した時には既に計画が出来上がっていて、着工にかかっていたというものでありますが、この呉羽丘陵には多くの古墳群もあるなど非常に長い歴史があり、この歴史のある呉羽丘陵の道を、国道を作るときに寸断してしまったことから、その道を復活したいというのが第一義の目的であったと聞き及んでいます。おっしゃるように、車が通る現存の主要道路の狭いところを拡幅することや、歩道を整備するなどというのも非常に大事なことでありますので、承った意見を持ち帰って検討させていただきたいと思います。

- 大川寺から西番斎場までの常西用水の沿線は公園になっていると思います。その中には、上流の方には桜並木、下流へ来ると殿様林の昔の歴史的な松の木が、何本あるかは知りませんが、かなりあります。その中間には佐々堤という（歴史的なものもあります）。その公園の管理に少し変なところがあり、大山（行政サービスセンター）に去年行くと、「大山ではなく大沢野でやっております」と聞きました。大沢野のどこが担当しているのでしょうか。去年、「殿様林の松の木が枯れそうだから、管理をしっかりしないと枯れてしまう」ということを言いましたが、今年になっても未だに放ったらかしで（適正に管理されていないので）、どこでどのような管理をしているのかお聞かせください。特に殿様林の松の木が5、6本枯れそうになっています。すぐに整備しないと枯れてしまいます。職員が5、6人行ってすぐに整備するなど、今やると決めて欲しいです。一度枯れたら元に戻りません。

それで、上流の桜並木のところでは、除草剤を撒いています。誰が撒いているか知りませんが、桜の木というのは除草剤を撒かなければいけないのか疑問です。途中の堤防のところに除草剤を撒いていて、このような堤防というものは崩れないようにしているのに、わざわざ草を抜いて除草剤を撒くというのは、富山市は何をしているのですか。誰かが勝手にやっているのか、その辺を確認させてください。

(市長)

ご指摘いただいた松枯れについては、しっかり調べさせていただきたいと思います。いずれにしても、あそこはよく江戸時代に堤が切れて、洪水が富山城まで押し寄せたということがあって、時の武将の佐々成政が築堤をして、その名残が今、常西用水という形で、田んぼや飲料水も含めて、未だに富山市民の生活の糧になっているという貴重なお話だと思いますので、話を持ち帰ってどこの管理かも含めて調べた上で、しっかりと対応していきたいと思っております。

※ 発言の一部を整理して掲載しています(広報課)